



元気アップみのり

2016年(平成28年)
新年号

発行 NPO 法人元気アップみのり
住所 〒678-0052 兵庫県相生市大島町 3-4
電話 0791-22-1330 Fax 0791-22-1347

年頭所感

地域の絆について

きすな

元気アップみのり理事長 柳口昌保



新年あけましておめでとうございます。

二〇一六年がみなさまにとって、また“元気アップみのり”にとっても輝かしい年でありますよう祈っています。

さて、今から二十一年前の阪神淡路大震災を思い出しました。その年の四月、淡路島の北淡町富島(震源地)の学校へ転勤になりました。行ってみると、校舎の壁のあちらこちらにヒビが入り、体育館のアンクル(鉄骨)はところどころ切断されており、修復するのに大変苦労しました。また、街はいたるところで家が倒れ、空き地が目立っていました。

私が最も感動したことは、あれだけの震災なのに北淡町では、死者や火災が発生しなかったことです。

それはなぜなのか? 地元の人に聞いてみると、隣近所のコミュニティが保たれており、お互いにガスの元栓を閉め合ったり、あのお婆さんはこの部屋で寝ているのが分かっていたらからみなどで助け出すことができたとのことでした。これは地域の連帯がとれていたからだと思います。

あれから二十一年がたち、今は社会の絆も薄くなり、自分だけがよければよいという考えが広がっているようです。私たちはお互いに助け合いながら日々の生活を送って行きたいと強く感じます。

作業所で袋詰めした伊勢製菓の製品



会社訪問「まいどです!」

伊勢製菓さん(那波本町二の六)を訪ねて

伊勢製菓は、私たちの

作業所にとり最大のお

得意先。通所者たちは

毎日の殆どを伊勢さん

の袋詰め作業に携わ

っています。年間を通

してほぼ切れ目なく仕

事があり、本当に有難

いことと感謝していま

す。そもそのきつか

けは、10年程前に作業所の或る通所者がトライヤル雇

用でお世話になったことから。それから内職仕事を出



工場前で伊勢製菓社長

していただくようになり、今ではそれが主業務になりました。創業は昭和40年、先代の社長さんが亡くなられた後、今の社長さんが18歳で2代目として後を継がれました。朝は3時からという大変な仕事です。伊勢製菓の製品は今や青森から鹿児島まで発送されており全国ブランドに成長しつつあります。

レタスの水耕栽培に挑戦！



水耕栽培が静かなブームなのをご存知ですか？本屋さんで水耕栽培キットが置いてあったり、ダスキンが水耕栽培キットのレンタルを始めたりしています。私たちの作業所でも以前はプランターで作っていたレタスを水耕栽培で作ってみました。小さな種が双葉になってやがて青々とした葉が茂っていく様を目の当たりにすると心も癒され、これこそ園芸療法だと思った次第です。早速、給食やロビー販売のパンに使用した他、皆さん方に配って喫食していただきました。また春になったらやろうと思いましたが、できれば事業化できないかなんて考えています。

「あいあい作品展」に今年も力作5点を出品！



今年も12月の第1日曜、市の福社会館にて“あいあいの集い”が開催され、作品展には4名の通所者が5点の力作を出品しました。

後編集

“春の海、ひねもすのたり、のたかな”という蕪村の句がありました。思わずそんな句を連想させるような暖かで穏やかな年明けでした。今年はどうか国際テロなどのない平和で穏やかな年であってほしいと思います。やっぱり正月はのんびり過ごすのが一番と気を抜いてみると、また誰かから「少しはシャキッとせんか！」と喝を入れられそうですが…

秋のバザール、総決算！

9月の若狭野祭りを皮切りに、10月の相生看護学校の学校祭、11月は市民健康フォーラムに旭商店街の本町バザール、ラストは12月のあいあいの集いと今年も多くのバザールに参加しました。今回、もみじ祭りの出店は見送りましたが、赤穂の荒神社獅子舞保存会からおでんの出前注文をいただくという新しい動きもありました。以上締めて売上は122,730円。う～ん、こんなものですか？



あいあいの集いではおでんを販売

ご寄付への御礼…あたたかいご支援、ありがとうございました！

昨年、下記の方々からあたたかいご寄付と寄贈の品をいただきました。ご厚情にあつく御礼申し上げますとともに、心からの感謝の意を表します。(敬称略)

- ・相生市社会福祉協議会
- ・日本キリスト教団相生教会
- ・連合兵庫西播磨地域協議会
- ・(株)イトメン
- ・(有)中央保険

